

## 広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	骨転移を有する前立腺癌の臨床的検討
研究責任者 (所属科名)	泌尿器科 主任部長 三田耕司
本研究の目的・意義	<p>骨転移は進行期前立腺癌に最も多く見られる病態の一つではあるが、個々の症例はさまざまなリスクを有するヘテロな集団と考えられ現在においても治療に難渋する病態の一つである。</p> <p>一方、実臨床では骨転移巣を有する進行期前立腺癌症例群に対し同様の内分泌治療を行っても予後に大きな差が見られることをしばしば経験する。したがって、このような病態を持つ進行期前立腺癌における予後分類は臨床的に重要な項目と思われるが、日本人において検証した報告は極めて少ない。</p> <p>今回、われわれはこれらの点に着目し、広島市立安佐市民病院で経験した骨転移を有するホルモン感受性前立腺癌の臨床的検討を行い、簡便なパラメータによる予後予測の可能性について検討を行う。</p>
調査方法・調査期間	<p>1995年1月1日から2020年1月31日の間に当院で骨転移を有する前立腺癌と診断された方の情報を調査します。</p> <p>調査期間は2020年2月1日から2020年12月31日までです。</p>
該当資料・データ	<p>★対象となる患者様</p> <p>1995年1月1日から2020年1月31日の間に当院で骨転移を有する前立腺癌と診断された患者さん。</p> <p>★利用する情報</p> <p>電子カルテに記載のある診療記録、検査データ、画像を利用します。</p>
個人情報の取り扱い	<p>利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報情報は削除致します。また、研究成果は学会・学術論文で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。</p>
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

お問い合わせ先	広島市立安佐市民病院 泌尿器科 主任部長 三田耕司 電話 : 082-815-5211 (代表)
備考	